

公益社団法人 新潟県農林公社 森づくり活動フィールドのご提供

新潟県の面積のうち森林の占める割合は約68%ですが、大半の方々は森林と接する機会がそれほど多くはないと思われます。

自然は時に厳しく、森林は近寄りやすい場所かもしれませんが、けれども県内に豊富に降る雪や雨を水資源として蓄えたり、二酸化炭素の吸収など、森林の持つ多面的機能は私たちの暮らしを陰ながら支えています。

新潟県農林公社は、森林資源の育成・公益的機能の増進・山村振興を目的に、現在約1万haの森林を育てており、人工的に造成された森林の機能を最大限に発揮すべく、計画に基づいた育成作業を行っています。

多様な機能を持つ森林は、ある程度の人為的な作業によって、その機能をさらに高めることができます。

公社ではもっと多くの方々に、森林の持つ多面的な機能のことや、森を育てる大切さや楽しみを知ってもらいたいと考え、これから公社の森林を「人と森をつなぐ場」として活用する「森づくり活動フィールド」のご提供をまいります。ぜひ一緒に森づくりをしてみませんか。

比較的簡単な作業から本格的な作業まで、機能維持につながる体験活動の場をご提供します。

(作業例) 枝打ち



不要な枝を除き風通しをよくすることで、木を病害虫から守ります。

つる切り、つる外し



木の生長を妨げる「つる」を根元から切り、幹から外します。

間伐木の処理



間伐（間引き）で伐採した木から枝を落とし、自然分解を早めます。

安全に作業を進めるために…



作業前に公社職員が手順・注意点を説明し、作業中にも安全指導を行います。



下草刈り、間伐木の伐採などの困難な作業は事前に地域の林業事業体が行います。

・作業活動から得られた森の恵み



森を手入れしたことで発生する「枝」や「つる」などを活用します。



・森や環境について学ぶ



私たちの暮らしと森の関わりについて、作業の中で簡単な解説をします。